

まちづくりや暮らしに関する制度、市の行う事業や市の方針について、議員が質問を通して主張・提言・指摘を行います。市の重要な施策は、この本会議で決定されます。

12月定例会は個人質問のみです。質問時間は答弁と併せて40分です。

三田市議会会議録 検索

三田市議会インターネット録画中継 検索

檜田 充 議員

市民の会



三谷 禎勇 議員

盟政会



福祉 障害者の雇用の促進を

議員 障害児の将来に向けての不安解消に向け、現在実施されている「地域社会共生フェスティバル」への民間企業の参加呼びかけを!!

市 少しでも多くの選択肢を提供

障害者雇用の促進は、障害者の生活の安定や生きがいづくり等の観点からも、積極的に推進する必要がある。現在は障害福祉事業所中心だが、来年度から、まずは三田市が一事業者として「地域社会共生フェスティバル」へ参加するとともに、市内企業への参加を呼び掛ける。(森市長)

他の質問 ●公共施設のあり方について

北本 節代 議員

新政みらい



市民病院 地域医療の未来を守る、つなげる改革について

議員 市民の命と健康を守るため、市内で安心して治療を受けることができる市民病院について、何のためにあり方を見直そうとしているのか。

市 このままでは、急性期医療は維持できない

急性期医療を守るには、最新の設備や機器を配備し、多くの医師等を確保できるよう集約化しなければ、医療水準も経営も保てない。また、若手医師の確保は新専門医制度の開始により大きく変化した。

病院を取り巻く環境は厳しさを増すが、この地域の急性期医療を守るため広域的な視点で改革を進めたい。(森市長)

他の質問 ●災害時の情報伝達について ●買物支援による相互連携協定について

説明

*新専門医制度：平成30年4月に始まった制度。複数の指導医のもと研修プログラムを受け、手術、診療件数の多い大規模病院で経験を積む必要がある。

子育て 早急に公立幼稚園の認定こども園化を

議員 待機児童の解消に幼稚園の認定こども園化が有効と考える。市内の私立幼稚園は来年4月で全て認定こども園化するが、公立幼稚園も早急に認定こども園化すべきではないか。

市 幼稚園再編を進め、令和5年度の開設を目指す

待機児童対策は保育施設の誘致等も行い民間主導を進める。公立幼稚園は集団規模の確保に向け再編を進める中で、認定こども園化等の保育サービスの充実を図る。なお、施設改修や保護者説明、人材確保等が必要であり、令和5年度の開設を目指す。(高見子ども・未来部長)

他の質問 ●三田における農業について ●災害時のペットへの対応について

大西 雅子 議員

公明党



福祉 生活困窮者への就労支援を問う

議員 社会参加の機会が少ない人が、今後、生活保護にならないようにしていくには、多様な課題の解決に対応できる困窮者に特化した相談員の配置や、一般就労に従事するための準備事業、そして学習支援も大事であると考えているが、市の見解は。

市 生活困窮者自立支援制度各事業の実施を検討

就労準備支援及び家計改善支援事業の一体的な実施が必要であり、また、子どもの学習・生活支援事業も重要であるため、これらを総合的に見極め、どのように優先的に実施していくか検討していく。(入江福祉共生部長)

他の質問 ●野良猫対策について ●災害時におけるペットの同行避難について

小山 裕久 議員

無会派



教育 新しく成人となる18歳の消費者教育は

議員 民法改正により令和4年4月から18歳で様々な契約ができるようになり、知識不足などによる金銭トラブルなどが多発すると考える。新しく成人となる18歳に対しての消費者教育について伺う。

市 学校教育との連携がより一層重要になる

賢い契約当事者の育成に向け、教育委員会と連携し、小中学校への情報提供や教職員の研修への協力等をより一層働きかける。また、市内の高等学校との連携についても積極的に取り組んでいきたい。(森市長)

他の質問 ●これからの子ども達の育成について

中田 哲 議員

新政みらい



子育て 放課後児童クラブの毎土曜日開所を

議員 現社会情勢の中、女性活躍は欠かせない。現行月一回だけの土曜日開所では、シフトで働く方には使いづらい。財源に限界があるならば、施設を集約してでも、毎土曜日開所を実現できないか。

市 ニーズ調査行っただうえで諸課題を検討

利用者増大傾向の中、待機児童が出ないよう努めているが、人材確保等の課題がある。サービスの拡充等には施設を集約化の考え方もあるが、場所の問題や児童の通所方法等の課題もある。保護者のニーズや、安全性を考慮し可否を検討する。(高見子ども・未来部長)

他の質問 ●プログラミング教育について ●定住外国人・外国人旅行者の対策について ●地域住民主体の介護予防の取り組みについて

國永 紀子 議員

日本共産党三田市議団



学校 学校給食用パンに国産小麦の使用を

議員 学校給食用パンに使われている輸入小麦から、残留農薬が検出されている。WHO国際がん研究機関は、発がん性が高いとしている。残留農薬検出ゼロの国産小麦を、食育教育の一貫として、月1回から取り入れてみてはどうか。

市 県産小麦のパンの一部導入を検討したい

学校給食で使用の小麦は、246種類に及ぶ残留農薬検査によっても不検出で、安全だと認識している。県産小麦を使用したパンの一部導入については、地産地消や食育の効果も期待できるため検討したい。(岡崎学校教育部長)

他の質問 ●学校統廃合問題について ●高齢者の運転免許返納後について ●三田まつり中止後の今後のあり方について

田中 一良 議員

新政みらい



まちづくり フラワータウン地区の再生を

議員 銀行の撤退などフラワータウン駅周辺の衰退が顕著になりつつある。商業施設など駅前周辺を活性化させる為に、市所有の駅前倉庫を売却し、学生や単身者向けの賃貸マンションとして活用してはどうか。

市 フラワータウン再生には人口定着が重要

当該地はフラワータウン駅にも近く、単身者や学生向けのマンションとしての活用策も十分に可能性のある内容と考えるので、様々な事業手法を見据えた中で、フラワータウンの再生に寄与する利活用を図っていきたい。(森市長)

他の質問 ●J R 新三田駅西側ロータリーについて ●土砂災害対策等について ●総合文化センター郷の音ホールについて